

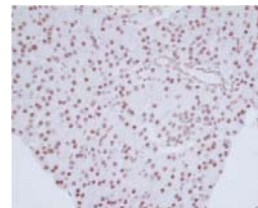
Anti human GR common mouse monoclonal antibody

GR: Glucocorticoid Receptor

製品コード	PP-H8031-00 旧コード ZZH8031H
Clone No.	H8031
Lot.	A-1
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR3C1
Genebank	X03225
由来	ヒトGR α (2-60 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエロマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト GR α , β に特異的に反応する。マウスおよびラット GR α , β に交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水 (防腐剤として 0.1% Na ₃ 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 μ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.3 μ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調整してください
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10 μ g/mL



ラット
脾臓
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNa₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Apr 17, 2008